

## 恵庭市総合計画シンポジウム

### 「地域政策の新たな潮流と総合計画の意義」文化創造都市への挑戦(レジュメ)

2024年9月5日

北海道文教大学地域創造研究センター 小磯修二

#### 1 総合計画の意義、その役割

- 羅針盤 どのようなまちを目指すのか  
目標を共有することの大切さ（国、地域、会社、自治体、家族・・・）
- 「総合」の意味
  - ① 横糸 調整 機能重視のタテの部門をどうつないでいくか
  - ② みんなでつくる 内と外の大切さ（行政内部の連携が鍵）
  - ③ トップの政策意思を反映
- 予算と政策との連動 単年度の予算システムの限界 長期的視野での政策継続
- 計画づくりを地域の力に 質の高い住民参加に向けて  
PI（パブリック・インボルブメント）の視点
  - ① 何を達成したいのかを明確に、②意思決定過程への段階的関与、③対象者別に照準
  - ④ 関心のレベルに応じた参加機会、⑤政策決定への実感 形式でなく、⑥内部の連携
- 大切な市民のモチベーション 事例紹介：中央アジアでの総合計画策定の経験から

#### 2 地域をめぐる潮流の変化にどのように向き合うか

- 人口減少・長寿化時代の計画
  - ① 計画思考の転換 長く人口増が目標（自然増の時代） 地方創生の教訓
  - ② 人口減→経済需要の縮小 怖いのは不安による委縮
- 地域経済政策の視点が重要に 稼ぐ力と域内連関力の強化を目指す 外発力と内発力の融合 地域の経済産業構造を科学的に分析し
  - ① 恵庭市の経済産業構造の特性と課題→北海道開発局による小地域産業連関表作成支援により R2 恵庭市産業連関表を作成  
生産力は大きい、流出も多い。低い自給率。通過型産業が多い。
  - ② 稼ぐ力：サービス移出産業（訪問者による消費）が重要に 産業政策としての観光 成熟国家の基幹産業は観光（魅力あるまち、快適な滞在が消費、産業を発展）
  - ③ 域内連関力の強化に向けて つながり（ソーシャルキャピタル） 恵庭の市民力、官民連携の経験を生かす

- 雇用環境の変化、人手不足の時代
  - ① 雇用政策に向き合う 地域主体の雇用政策
  - ② 社会保障政策との連携、外国人との共生社会へ
- 国際環境の変化 経済安全保障による国内の地方立地が加速

### 3 恵庭が輝くために 文化創造都市への挑戦

- 捨てればゴミ、使えば資源 ゴミを宝に
- 文化政策の潮流の変化 観光、国際交流、福祉分野にまで
- 地域資源の再発見 文化資源として地域の魅力、活力に
- ないものをねだらない（八戸市の事例調査から）
- 地域のつながり（市民力、官民連携）を地域の活力に
- 独自政策の刷新に向けて（「読書のまち」宣言、恵庭まちじゅう図書館）
- 欧州の経験 地域の結束、多様性、包摂 内発的な力による都市文化創造の取り組み
- 不透明の時代における都市問題の解決→自由で創造的な発想による政策の展開→文化の視点